

伸びました！

「第2回統一模試結果」

伸びBEST10

第1回統一模試との比較

	第1回	第2回
1位	Wくん 214点	358点
2位	Kさん 158点	255点
3位	Sくん 316点	398点
4位	Oくん 123点	194点
5位	Sさん 163点	231点
6位	Sさん 280点	344点
7位	Mさん 241点	296点
8位	Iくん 136点	190点
9位	Iさん 216点	263点
10位	Nくん 199点	245点

「9月実力テスト」

伸びBEST10

1学期末比較(学年順位の伸び)

1位	Sさん(単人中3)	61番UP
2位	Iくん(単人中3)	46番UP
3位	Hくん(国分中2)	42番UP
4位	Tくん(単人中3)	37番UP
5位	Nさん(単人中2)	36番UP
6位	Oくん(単人中1)	35番UP
6位	Gさん(単人中3)	31番UP
8位	Kさん(国分中3)	31番UP
9位	Sさん(単人中3)	26番UP
10位	Yさん(国分中3)	21番UP

Bird's-eye view

‘森林’

「里山資本主義」 藻谷浩介・NHK 広島取材班(角川新書)

ますます過疎化していく地方で、新しい何か動き出している。石油に代わる燃料が山里にあるという。木質バイオマス発電とは？ペレットボイラーそしてエコストーブとは？21世紀のエネルギー革命を一人ひとりが本気で考える時がやってきた。

エネルギー革命を成し遂げようとしている国があるという。モーツァルトやシューベルトを生んだヨーロッパの小国オーストリア。日本と同じように地下資源に乏しく、原油や天然ガスを外国に依存してきた。そのため国際状況が不安定化するたびに、エネルギー危機に見舞われてきた。そこで外国の化石燃料より身近な資源のほうに信頼できるという考え方で、エネルギー政策を林業による再生可能エネルギー中心へと舵を切った。林業がエネルギー資源を産み、若者の雇用を増やし、安全保障と地域経済の自立をもたらしているという。「脱原発」を憲法に明記しているオーストリアは、今や超優良国家となっている。

今だけ良ければいいという刹那主義が生んだ福島原発事故。この時の教訓は一体どこに行ってしまったのだろうか？また地球温暖化が引き起こしている自然災害はかつてより大きな脅威となっている。果たしてこのままでいいはずがない。里山からエネルギー革命をやらうという試みが、50年、100年、200年先、将来の子孫に穏やかな日本を残す可能性を秘めている。おおいに期待したい。



‘森のノーベル賞’ セルロースナノファイバーの実用化

9月28日、「森林・木材科学分野のノーベル賞」とも言われる「マルクス・バーレンベリ賞」が3人の日本人研究者に授与された。木材の繊維を効率よくほぐす方法を発見し、新素材セルロースナノファイバー(CNF)の実用化に道を開いたという。CNFは、鋼鉄の5分の1の軽さで5倍以上の強さを持ち、植物由来で持続型資源のため、未来のハイテク素材としての可能性が高いとされている。日本の豊かな森林資源がここでも大いに生かされそうだ。

本の紹介

『ふたり』赤川次郎(新潮文庫)

『お姉ちゃんは高校2年までしか生きなかった。でも、私が来年高校1年になり、2年になり、3年になったら、私はお姉ちゃんの歳を追い越してしまう。それでもお姉ちゃんは、ずっと私の中にいてくれる？』

高校2年生のしっかり者の姉「千津子」と中学2年生の引っ込み思案な妹「実加」。事故の為、死んだはずの姉の声が、突然、頭の中に聞こえてきた時から、『ふたり』の奇妙な共同生活が始まった…。

妹と十七歳で時の止まった姉。二人の姉妹のほろ苦い青春ファンタジー。

この作品は、私が中学の時に初めて自分のお小遣いで買った小説です。この作品は映画化やドラマ化もされており、TVドラマを見たときに「原作を読んでみたい。」と思ったのがきっかけでした。当時の私はこのドラマをとて気に入り、主題歌のCDまで購入したのを覚えています。

先日、古本屋で文庫本を物色していたら、たまたまこの本が目にとまり、50円という価格の安さもあって25年ぶりに読んでみました。中学生の頃の自分は物語の展開を楽しんでいたと思います。(25年も前のことなので‘たぶん’ですが…)しかし、今回は、登場人物の人情の機微に触れたり、子ではなく親としての立場から考えてみたりと中学生の時に感じていたものとまた違う角度からこの本を楽しむことができました。

秋の夜長、以前読んだ本を読み返してみるのも面白いと思いますよ。(内村)



座・閑話

ノーサイド NO SIDE

今、ラグビーが熱い！イングランドで行われているラグビーワールドカップで、日本チームが優勝候補の南アフリカ共和国を破り、大番狂わせを演じた。更にその試合っぷりがラグビーの魅力が格段に引き出したようだった。引き分けのペナルティーキックではなく、逆転のトライを狙ったその勇気ある判断が、日本に限らず世界のラグビーファンを熱狂させ、魅了した。あの鍛え上げられた体と体が激しくぶつかり合うタックルとスクラム、倒されても倒されてもボールを繋いでいくパスワークに見られる強靭な精神、そして時には相手陣をするすると駆け抜けて行く躍動感とその爽快さは、ラグビーに不慣れな私たちの多くをどんなにか虜にしたことだろう。

しかし国と国が戦うワールドカップの代表選手に、外国人選手が多いことに違和感を持った人もいるかもしれない。だが、スポーツとは本来、平和な社会でこそ成り立つ娯楽であることを考えれば、ラグビーの持つ選手枠の寛容さに拍手を送るべきだろう。イギリス生まれで、どのスポーツよりも国の枠を自由にしたワールドワイドなラグビーは、イギリスの騎士(ナイト)の持つ、威風堂々とした清々しさを感じさせてくれる。今風に言えば実に‘クール’だ。そしてそのクールさを一言で表した言葉が、試合終了を表す「ノーサイド NOSIDE」ではないか。試合終了後、あんなにも激しく格闘した選手達が敵味方関係なく入り混じって健闘を讃え合っている。戦いの後は、あちら側こちら側のどちらのサイドでもない。ノーサイドなのだ。その哲学が精一杯戦い終えた戦士たちの表情に清々しさを与えているような気がした。



メーデーヤギ

勉強しているのに伸びない？(どうしたら伸びる?)

「学問に王道なし」とよく言われます。まさにその通りで、何でも楽して身につくものはありません。しかし「一生懸命勉強しているけど伸びない」と言う人もいます。それは頭の良し悪しというよりは、ほとんどが、生活のあり方や学習方法に問題があると言ってもいいかもしれません。

以下の項目であなたの生活リズムや学習方法をチェックしてみてください。自分に不足していることや改めなければならないことはないでしょうか。もしあれば、すぐに実行に移して下さい。そうすればあなたの成績は必ず良い方向に向かっていきます。再度言います。「今すぐ実行すれば必ず成績は上がります。」

1. 規則正しい生活を送っていますか？

- * 何をしてもリズムが大切です。夜遅くまで起きていたり、遊びと勉強のけじめがないなど、何事をするにもだらだらしてはいけません。テンポの良い生活を心がければテストにも強くなります。
- * 遅刻はしていませんか？忘れ物はしていませんか？あいさつはしっかりとできていますか？これは大切な心構えです。

2. 授業(指導)の受け方は間違っていないですか？

- * まじめに受けているのに伸びない人の中には、「解答の丸写し」や「答え待ち」になっている人が多いものです。大事なのは「答え」ではなく、その答えにたどり着くまでの過程なのです。すなわち「解法をいかに理解していくか」が大事なのです。解法などはしっかりノートに書きましょう。
- * 先生が説明しているときに何か書いている人や問題を解いている人を時々見ますが、授業を活かす基本は、読む時は読み、書く時は書き、説明の時は聞く。これが大事です。

3. 私たちを「信頼」してくれていますか？

- * 今使っているテキストやプリント類そして小テストなどに一生懸命取り組んでいますか？そうすることが、私たちに信頼するという事です。すなわち、そうする人は必ず成績が伸びるということです。一つ注意することがあります。それは、できれば学校と塾の教材以外の問題集には手を出さないということです。限られた学習時間の中で教材が多すぎると、できる問題だけしてできない問題が放置されてしまうからです。その結果、できないところがいつまでもできない、ということになります。どうぞ今やっていることを信じてください。必ずや成績が向上し、志望校合格へと導いてくれます。私たちも、「信頼度＝達成度」を心に刻んで、あなたに信頼されるように日々研鑽を積み重ねてまいります。

あなたに望むことは、

飛躍的に伸びた人に『ジャンプ賞』を贈呈しています。これは塾生一人ひとりが達成すべき目標です。

「やればできる」を是非体験して下さい。これは自主的、積極的学習を心がけた人はほとんど達成してきました。「少し上がった」で喜んではいけません。あなたは、「自分の将来の礎(いしずえ)を今、ここで築いていくんだ」という強い信念を持つべきです。そう願っています。

10月の主なスケジュール

- ・中3統一模試(3日 9:30~15:00) ・英検(単人校 10日)
- ・中間テスト対策(単人中1・2年生) ・漢検(31日 19:00~20:00)
- ・中3合同特訓ゼミ(国分いきいき交流センター 31日 9:00~16:50)